

# ニュース アイ

当院の事です。  
新潟県で初めて  
スクリーニング検査を  
取り入れました。

# 早期対応 言語発達促す

## 広がる新生児聴覚スクリーニング検査

先天性聴覚障害の早期発見と支援開始を目的に、生まれたばかりの赤ちゃんを対象に耳の聞こえを調べる「新生児聴覚スクリーニング検査」。簡便で精度の高い機器の開発でここ10年ほどで普及が進み、県内の産院の多くで受けられるようになった。障害があった場合でも、早期に補聴器の装着などを行うことで言葉やコミュニケーションの十分な発達が促せると期待されている。一方で最終的な診断が出るまでには数カ月かかることが多く、不安を抱える保護者の支援が課題だ。

(報道部・江森美奈子)

「まさか耳が聞こえない 潟市東区)の乳幼児教室 準備ができた」

いなんてみじんも思っ  
ていなくて。ショックで涙  
が止まらなかつた。新  
潟市秋葉区の小学校介  
助員女性(43)は、次女を出  
産した12年前を振り返  
り、こう語る。生後5日  
ほどで、出産した三条市  
のクリニックで当時はま  
だ珍しかったスクリーニ  
ング検査を受けた。結果  
は「要再検」。病院の耳  
鼻科での精密検査を勧め  
られた。

経過観察の後、1歳半  
で出た結論は重度聴覚障  
害。補聴器を装着し、親  
子で県立新潟聾学校(新  
潟市東区)の乳幼児教室  
に通った。3歳4カ月で  
幼児難聴としては県内2  
例目となる人工内耳の手  
術を受け、ささやき声で  
も聞こえるようになった。  
次女は今、小学校の普  
通学級に通っている。  
女性は今、「難聴の  
急ぐ。補聴器などの医療  
的な手助けを早期から受  
けることで、言語発達が

## 診断で時間 親に負

聾学校・行政 相談態勢

順調に進む利点がある  
県によると、同検査  
昨年末時点で県内の分  
取り扱い医療機関49施  
のうちの45施設が実施。「  
準備中」(県健康対策課  
だ。2011年に同検査  
を受けた県内の新生児  
全体の約7割の約1万  
500人だった。  
新潟聾学校によると  
スクリーニング検査を  
つかけに早く障害が分



新生児聴覚  
検査 刺激音  
経から脳幹の電気的  
「自動聴性脳幹反応  
と、耳の穴に小さな  
耳から放射される小  
る「耳音響放射(O  
検査は睡眠時や安静



新生児聴覚スクリーニング検査を受ける新生児 新潟市中央区のとくなが女性クリニック